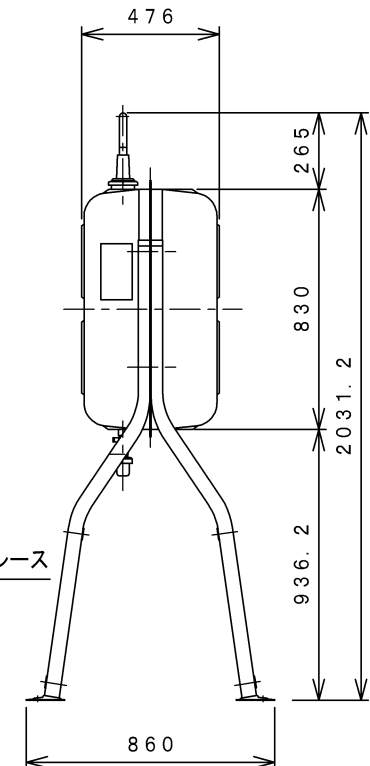
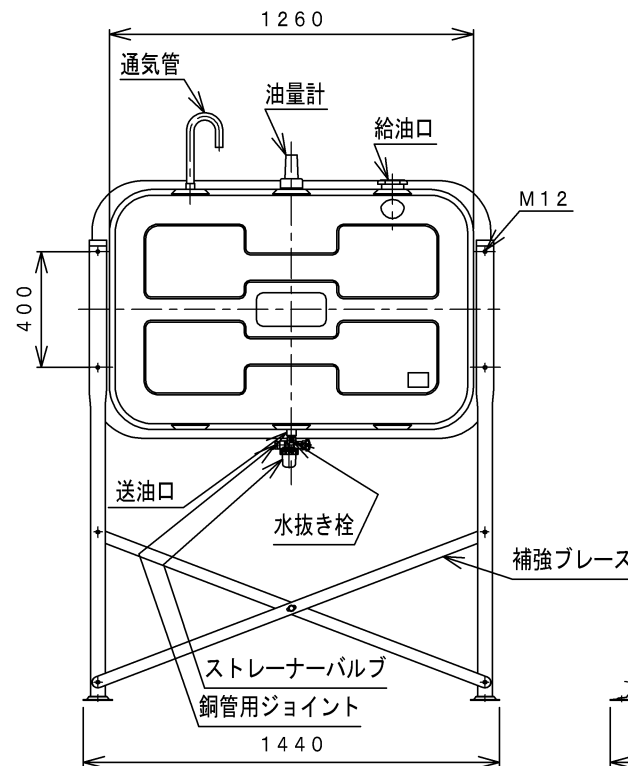
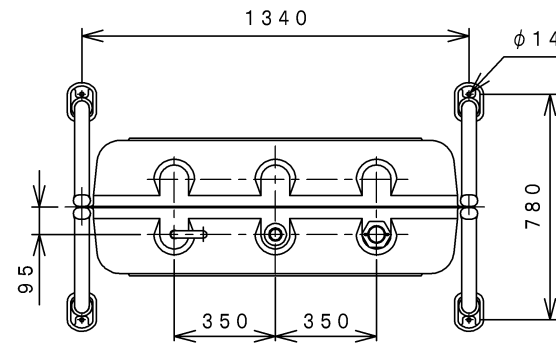


サンダイヤ オイルタンク 仕様書

型 式		分 類 記 号
K S 3 - 4 9 0		V J 1
仕 様 明 細 書		
容 積 容 量 使 用 燃 料 種 類	4 5 0 リットル 4 0 5 リットル 灯 油 据置式（脚部固定）・屋外用	
本体材質、板厚 脚材質、板厚 補強材質、板厚	溶融垂鉛メッキ鋼板、2.0mm 垂鉛メッキパイプ、φ50.8×1.6mm 溶融垂鉛メッキ鋼板、3.2mm	
溶 接 塗 装 検 査 包 装	シーム溶接、CO2アーク溶接 ポリエステル樹脂静電粉体塗装 本体密閉後、49kPaの空気圧による全数検査 PEシート、エアキャップ	
油 量 計 給 油 口 通 気 管 送 油 口	無指向性フロート上下表示式 φ60mm φ25.4、40メッシュ金網付 Rc3/4めねじ ストレーナバルブ（R3/4×Rc1/2） φ8鋼管用ジョイント付	
塗 装 色 完 成 重 量	本体・脚（ライトページ21） 約78kg	
耐 震 設 計 条 件	「局部震度法」により、以下の条件以内でご使用ください。 （建築設備耐震設計・施工指針2014） $K_h = K_0 \cdot K_1 \cdot Z \cdot \beta \cdot I = 1.5$ 以下としてください。 床に作用する水平震度、 K_0 =通常は1.0（0.8~1.0） 建物の床応答倍率、（地上又は1階） K_1 =通常は1.0 地域係数、 Z =通常は1.0（0.7~1.0） 本図オイルタンクの応答倍率、 $\beta = 1.5$ 用途係数、 I =通常は1.0（0.7~1.5） W =通常は402kg（タンク+灯油質量） あと施工標準式M12埋込長さ90mm以上。 基礎コンクリート設計強度1.8kN/cm以上。	
耐 震 性	1G対応。以下の通り1G（980ガル）相当以上の試験に対応しています。 神戸海洋気象台観測波（1995.1.17）の 120%条件にて三軸加振の耐震性確認。 最大合成速度：135（カイン）（1成分で108） 最大合成加速度：1450（ガル）（1成分で1300）	

注）タンクの設置については、据付説明書をご覧のうえ正しく設置してください。

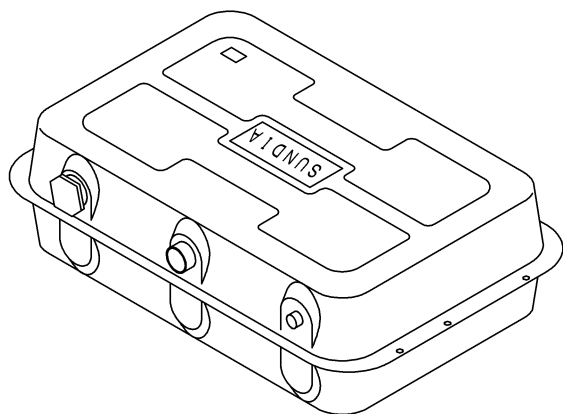


オイルタンク部品一覧図

型 式	分 類 記 号
KS3-490	VJ1

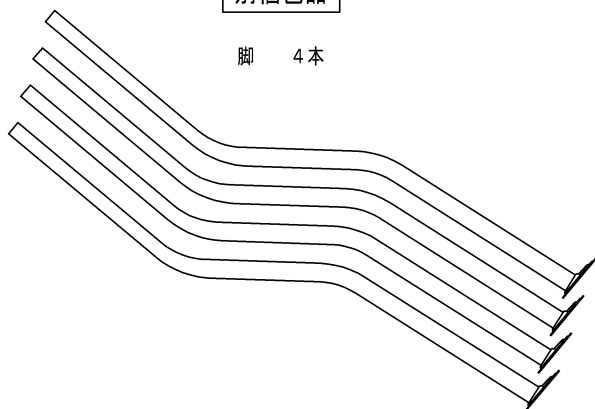
別梱包品

タンク本体 1個



別梱包品

脚 4本

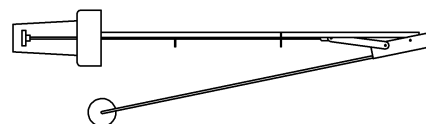


補強プレート 4枚 (全長1481mm)



部品箱梱包品

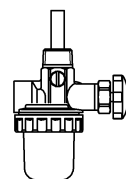
油量計 1個



通気管 1個



ストレーナバルブ 1個



ジョイント 1個



脚キャップ 4個



ボルト・ナットセット



M12×110 4セット



M10×65 8セット



M10×20 2セット